

中央図書館利用者アンケート【令和3年11月27日（土）実施】の主なご意見・ご要望と回答・対応は次のとおりです。

CDなど最下段は暗くて資料の文字が読めません。棚を上げるか、明るくするか日中でも判別しやすくしていただけるとありがたいです。

CDについては、最下段の棚は使用しないようにして運用をしています。また、一部のコーナーに関しては最下段の位置を上引き上げました。しかし、DVDなどはサイズが大きいため最下段まで使用せざるを得ないのが現状です。ご理解をお願いします。

電子書籍をもっと増やしてもらえると嬉しいです。

電子図書につきましては、様々な分野を広く購入するようにしています。当館としましては、今後も電子図書を増やしていきたいと考えておりますのでご理解ください。

いつも本を探す時、どの棚にあるか見つけるのが大変です。

当館は、「日本十進分類法（NDC）」を基にして本をテーマ（主題）別に分類し、書名の頭文字や著者名の頭文字（カタカナ）と、場合によっては別置記号（アルファベット）や巻冊記号（数字）で分類された数字（請求記号）順に本を並べています。そのため、まず館内の蔵書検索機（OPAC）で本の請求記号を調べてから探すようにしていただくと早く見つけることができます。しかしながら、それでも探せない時は、気軽に図書館スタッフまでお尋ねください。また、館内フロア地図の大型パネルを各階の中央付近に、令和2年12月22日より設置しましたので、本を探す際の参考にしてみてください。

延長の期間を2週間にしてもらえると助かります。ご検討のほどよろしくお願いします。

今までも延長期間を長くしてほしいというご意見はいただいております。しかし、延長期間が長くなると、読みたい本の順番がなかなか回ってこないという事象も起きます。多くの利用者の方に、1冊の本を有効にご利用いただくために、延長期間は1週間が妥当と考えております。ご理解をお願いします。

本を借りる時、消毒出来る機械を希望します。（関東に長年いた時、消毒出来ました。）この時期、コロナで気にしている方も多いと感じる。

本の消毒機につきましては、次の各点を総合的に判断した結果、導入には至りませんでした。

- ・本に対する機器の紫外線照射で紙や印字の劣化を早める恐れがある。
- ・本の長期保存に対し逆行することになる。
- ・機器の処理時間が長い。
- ・一度に処理できる冊数が少ない。
- ・本のサイズが限定される等。

当館では、返却後の本はページをパラパラと見開き、異物の挟み込み、水ぬれ、破れ、落書き、外観の汚れや損傷等を全て確認し書架に戻しています。皆さんに気持ちよくご利用いただけるように努めていますので、ご理解をお願いします。

返却日の遅延者への督促願います。

督促につきましては、返却日が経過した早い段階で、まずは電話連絡を行い返却をお願いしております。それでも返却がされない場合は、紙文書やメールにて督促を行っております。